

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	海津市家庭教育支援チーム (呼称:海津市家庭教育推進協議会)
②活動拠点	海津市内各公民館や各小中学校等
③活動範囲	海津市内全域
④組織体制	30人 家庭教育推進協議会14人、相談チーム専門相談員14人 応援隊講座各代表8人、家庭教育支援員1人 ※兼務者あり
⑤活動開始年度	平成19年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 海津市市民生活部 文化・スポーツ課 (TEL)0584-53-1536 (E-mail) bunkasupotsu@city.kaizu.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☒ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 ①相談チームによる子育て支援 各課や団体等で相談活動を行っている担当者が交流し、連携しながら相談内容にあった対応や支援をしている。

	②相談室の設置 家庭教育支援員による『にこにこ相談室』を設置。子育てやしつけの相談・いじめ、不登校の相談・学習や学校生活に関する相談業務にあたっている。 ③応援隊講座による子育て支援 8つのボランティア団体が登録し、親子で活動する講座や親を支援する活動を実施。 ④地区チームによる子育て支援 小学校区ごとの地区社会福祉協議会で地域のつながりを重視した取り組みとして実施される三世代交流行事を支援。 ⑤家庭教育学級の工夫改善研修による子育て支援 各学校の家庭教育学級長や教頭先生を対象に家庭教育学級の進め方のレクチャーや参考になる話題を提供。 ⑥子育て親育ち講座による子育て支援 次年度小学校に入学する保護者を対象に実施。各小学校の就学時健診の日に開催し、講師を招いて、これからの子育てで大切にすることについての講話や情報を提供。 ⑦家庭教育講演会開催による子育て支援 保護者、学校や地域で子ども達と関わりをもっている方々に、昨今の子どもを取り巻く課題や状況、子どもとのコミュニケーションのとり方について講演会を開催。(オープン講座) ⑧子育て通信発行による子育て支援 子育て通信を年4回発行。市内対象の全保護者に学校や園を通して配布。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・学校行事と家庭教育学級を一緒に行うことで、保護者が参加しやすい工夫があった。動画を活用した在宅取組によって、多くの保護者が取り組みに参加できた。 ・子育て親育ち講座を就学時健診日に実施することで、ターゲットとするほぼ全員の保護者の参加があり、親子のコミュニケーションの取り方など育ちに合った内容を提供することができた。 ・家庭教育支援員による『にこにこ相談室』を水～土曜日に設定し、相談しやすい環境を整備して、様々な相談に対応している。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☒ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()